

# 平成28年度 経営発達支援計画 実施報告

## 1. 評価委員会実施状況

<ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日時：平成29年6月20日（火）11:15～12:45</li> <li>・開催場所：まつえ南商工会 玉湯支所</li> <li>・出席者：委員 宮本大資（日本政策金融公庫松江支店 融資課長）                  委員 桑垣宏二（松江市商工企画課 係長）                  委員 高橋陽介（まつえ南商工会 副会長）                  委員 福岡敬司（まつえ南商工会 副会長）                  オブザーバー 村川敏夫（島根県商工会連合会 経営支援課長）                  事務局 内田 豊（まつえ南商工会 事務局長）                  事務局 高見 真（まつえ南商工会 経営指導員（支援センター長））                  事務局 土谷志伸（まつえ南商工会 経営指導員）                  事務局 前島広奉（まつえ南商工会 経営指導員）</li> <li>・提出資料：実績評価シート、実施状況評価表（自主評価）</li> </ul>
---

## 2. 事業項目別評価状況と改善点

経営発達支援事業	評価※
<p><b>1. 地域の経済動向調査</b></p> <p>◆実施内容</p> <p>(1)自主調査 【目標：24事業者 ⇒ 実績：7事業者】                  景況調査先7事業者に別途17事業者を選定。別途選定した17事業者への調査は準備不足で未実施。</p> <p>(2)各種調査                  日銀の「山陰の企業短期経済観測」など必要な情報を必要な時にホームページを中心に収集。</p> <p>(3)活用                  事業計画の作成時の外部環境の判断材料として、また定期的な業況報告等で活用。</p> <p>◆効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自主調査は業種別に四半期毎の業況把握が目的であったが、ネットde記帳先に対する四半期での調査ができず、年分を通した把握となった。また、各種調査も発表される都度の収集とはならず必要に応じての収集となった。</li> <li>・自主調査において四半期での把握は一部にとどまり各種調査も必要に応じたものとなったが、事業者の経営環境の把握や支援に必要な情報は収集し提供した。</li> <li>・地域の経済動向は商工会として把握が必要であり、他機関や事業者から提供を求められるため、取り組みの改善が必要である。</li> </ul> <p>◆外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回は全会員年3回としっかり取り組まれている印象。巡回により収集される小規模事業者の声と地域の状況把握は、例えば補助金の制度化実現など、行政の取組みにも影響を与えるため、引き続きしっかり取り組まれたい。</li> <li>・各種調査を活用してしっかりと情報を収集し、把握に努めていることが認められる。公庫も地域の事業者に対して独自調査を実施しており、この情報は商工会からの要請があれば提供することが可能であるため、次年度は是非活用いただき、評価の向上を目指してほしい。</li> </ul>	C
<p><b>2. 経営状況の分析</b></p> <p>◆実施内容</p> <p>(1)経営分析対象者の選定 【目標：18事業者 ⇒ 実績：17事業者】                  金融支援、補助金申請先及びネットde記帳利用先から支援事業者を選定。</p> <p>(2)経営状況の分析</p> <p>①財務分析 【目標：9事業者 ⇒ 実績：5事業者】                  金融支援者に対する資金繰りのための財務分析を実施。記帳利用先への広がり不足。</p> <p>②環境分析 【目標：9事業者 ⇒ 実績：12事業者】                  事業計画の策定者に対する環境分析を主に実施。</p> <p>◆効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境分析を実施した支援事業者は金融、補助金申請などそれぞれの目的に沿った問題解決や計画策定の参考として役立った。</li> <li>・ネットde記帳利用の支援事業者に対しては、申告後に内容確認の時間が取れなかったため、分析結果の提供は年度をまたぐこととなった。</li> </ul> <p>◆外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財務分析のみの件数は少ないが、より重要な経営分析はしっかりと目標クリアしており高く評価したい。また、最も重要なのは事業者選定件数にあると思うので、今後はこの件数を伸ばすことに重きをおいて取組まれていかかが。本件の報告を総合的に判断すると、ここはA評価でもよいと感じる。</li> <li>・しっかりと分析はされているので、この分析結果を内部においてもしっかりと情報共有されて活用していただきたい。</li> </ul>	B

<p><b>3. 事業計画の策定支援</b></p> <p>◆実施内容  (1)事業計画策定支援 【目標：5件 ⇒ 実績：21件】  事業目的達成のための計画策定を支援。計画策定の多くが短期的な計画となった。</p> <p>◆効果検証  ・募集の結果、応募のあった経営分析支援事業者に対しては、当初予定のなかった経営計画の策定までを支援した。この支援にあたって伴走型補助金を活用した専門家派遣により実効性の高い計画が策定できた。  ・また今年度は、業種別審査辞典を購入し創業者の計画策定等の際、参考資料として活用した。  ・情報共有など計画どおりとなっていない項目もあるが、目的に合わせた計画策定の支援は実施できた。</p> <p>◆外部評価委員の意見  ・事業計画は支援内容によって計画の中身が大きく異なる。再生計画や承継計画は難しく、特に承継計画についてはハードルが高いと感じている。定量目標は目標を大きく上回る実績であり高く評価するが、今後も続いて再生、承継、創業に対する計画策定支援への取組みに期待したい。  ・本件では定量目標に対する実績を含め、総合的に高く評価する。事業承継について松江市と安来市は県内でも調査が遅れている。承継のタイミングは難しい面もあるが、松江市も支援施策の企画・実行や最大限のバックアップを考えているので、今後は事業承継計画策定支援にもより一層取り組まれない。</p>	B
<p><b>4. 事業計画策定後の実施支援</b></p> <p>◆実施内容  (1)事業計画の実施 【目標：20件 ⇒ 実績：24件】  短期の計画が多いため完了状況を確認。未確認の事業所があり実施確認の行動計画が未整備。</p> <p>◆効果検証  ・事業実施状況の確認は、補助事業の実行を支援する事業者が多かったため、確認の機会があった。そして補助事業の実施支援ということもあり、計画との極端な乖離は見られなかった。  ・計画の実行支援としては、計画の策定期間により実績の達成率は下がるものの支援事業者の要望には応えられていると思われる。</p> <p>◆外部評価委員の意見  ・定量目標に対する実績や事業内容はしっかりしており、高く評価できる。当庫もアフターフォローなど金融以外の事業所支援にも力を入れており、他の支援機関との連携も進めているため、事業計画実施支援の際には積極的に活用してもらいたい。  ・目標に対して、総合的には十分に達成していることが認められ、高く評価する。</p>	B
<p><b>5. 需要動向調査</b></p> <p>◆実施内容  (1)需要動向の収集  事業計画の策定に必要な情報をインターネットを中心に収集。お買物調査は7月から8月にかけて実施。  (2)需要動向情報の活用 【目標：5事業者 ⇒ 実績：13事業者】  事業計画策定者に計画策定の参考として提供。お買物調査報告は次年度提供となった。</p> <p>◆効果検証  ・需要動向については支援事業者の補助金等の事業計画策定のための情報収集が中心となっているが、支援事業者に必要な情報は提供されている。  ・需要動向の情報について経営指導員間での情報共有や情報の整理がされていない。このため同じ情報をそれぞれで取得したかは不明であるが、そうした無駄を防ぐためにも計画どおり実施するよう対策が必要である。  ・商勢圏実態調査は一部への情報提供にとどまっているため、次年度は多くの事業者へ計画どおり周知する。</p> <p>◆外部評価委員の意見  ・この項目は評価が難しいと感じる。全体的に厳格に実績を計上されていることもあり、ここでは定量目標が260%の達成率となっていることから、A評価でもよいのではと感じる。  ・業種別審査辞典は全ての金融機関も参考にしており、しっかりと活用されたい。当庫も経営指標のデータをネット上で公表しており、こちらも是非活用いただきたい。なお、本件は総合的にみて、少なくともB評価以上とすべきではないか。</p>	B
<p><b>6. 新たな需要開拓に寄与する事業</b></p> <p>◆実施内容  (1)情報発信による販路開拓支援 【目標：5事業者 ⇒ 実績：96事業者】  まつえ南「おいでネット」のサイトを立ち上げ、会員の情報発信を支援。独自のホームページ作成や機能強化なども支援。  (2)展示会等による販路開拓支援 【目標：3事業者 ⇒ 実績：3事業者】  島根ふるさとフェアでの展示即売と広告宣伝の機会を設け販路拡大を支援。  (3)関係機関との連携による販路開拓支援  商品化のための味覚分析やモニター調査などを支援。市の農水商工連携事業に協力。</p> <p>◆効果検証  ・迅速に情報伝達できる仕組みを構築し、必要な情報を素早く提供するように心掛けている。また、SHIFTを活用した情報登録は、組織的な推進で計画以上に進めることが出来た。  ・意欲ある事業者の販路開拓については重点的に取り組んだ結果、取引の増加などの成果が表れている。  ・商談会等への出店は件数としてはあるものの、地域資源として域外向けや温泉地の土産物店へ斡旋できる商品がなかなかないのが現状となっている。</p>	B

<p>◆外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・定量目標はしっかりと目標達成しており、事業内容を含め、高く評価する。次年度は、当庫が主催する全国規模の展示商談会や、当庫の連携先（ホテル・温泉組合、等）紹介などを活用いただき、A評価を目指して欲しい。</li> </ul>	
<b>地域経済の活性化に資する取組</b>	
<p>◆実施内容</p> <p>1. 地域資源を活用した地域活性化支援 【目標：1件 ⇒ 実績：2件】 建設部会が竹を使った商品を試作。猪肉を活用した加工食品の開発支援を実施。</p> <p>2. 温泉を核とした観光振興による地域活性化支援 (1) 玉造温泉活性化のための協議会の開催 【目標：3回 ⇒ 実績：0回】 関係機関による玉造温泉活性化の協議は日程が合わず実現できなかった。 (2) チャレンジショップ支援による温泉街の魅力向上 【目標：1事業者 ⇒ 実績：2事業者】 空き店舗に対して新規の出店を支援。 (3) インバウンド観光の受入れ支援 4種の外国語パンフレットの作成に対し支援。</p> <p>◆効果検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品開発についてはなかなか思うように進んでいない現状がある。竹を使った商品開発は部会事業として様々な事業者が新たな商品の開発を目指し協議している。このことは事業者の意識改革への効果が期待できる。また、猪肉については加工を加えることで、新たな商品として販売できることの気付きによる事業者自らの行動を期待したい。</li> <li>・玉造温泉街の活性化としてのインバウンド対策や空き店舗支援は実施できた。しかし、関係機関との会合など計画どおり実施できなかったことが残念な結果となった。</li> </ul> <p>◆外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業内容等、不十分な面もあるが、玉造温泉の外国語パンフレット作成に伴うインバウンド対策支援などの取組みは評価できる。当庫もインバウンド対策支援として従業員向けのおもてなしパンフレットを作成している。また、ホテル・温泉組合との会合への参加も対応可能であり、他県での事例ではジビエの輸出支援をしたこともある。当庫を活用していただくなど、積極的な連携により、しっかり取組みを実行され、評価の向上に努められたい。</li> </ul>	C
<b>支援能力向上のための取組</b>	
<p>1. 支援ノウハウの情報交換</p> <p>◆実施内容</p> <p>他の商工会、支援機関等が参加する会議への出席や個別対話などで情報交換を実施。</p>	B
<p>2. 経営指導員等の資質向上の取り組み</p> <p>◆実施内容</p> <p>支援能力向上のため研修会に参加。OJTの取り組みは不十分。</p>	B
<p>3. 組織内共有</p> <p>◆実施内容</p> <p>経営支援センター会議等を実施し支援情報を共有。共有内容としては不十分。</p>	B
<p>4. 事業の評価と見直し</p> <p>◆実施内容</p> <p>組織内の会議等においての報告が不十分。</p>	C
<p>◆外部評価委員の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・厳しめに評価されている中ではあるが、概ね自主評価どおりで妥当かと思う。評価向上に向けた提案として、「支援機関連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換」について、貴会の定例会議へ当庫から担当者を同席させていただくなど、積極的な情報交換の実現を図り、評価CからAに向けて貢献したいと考える。</li> </ul>	
<b>次年度（平成29年度）以降における改善点</b>	
<p>1年目の実施状況を踏まえて次の点を改善する。</p> <p>①地域経済動向等の定期的な提供 収集・提供する仕組みと、提供する書式を作成することで定期的に提供する。</p> <p>②記帳機械化利用先への経営分析の実施 記帳機械化利用事業所に対して財務分析を実施することで経営に役立つ資料を提供する。</p> <p>③実行支援の計画的実施 計画策定の事業所に対して、その後の経過状況を確認するための行動計画を作成し計画的に実行支援を行う。</p> <p>④関係機関との協議の実現 地元関係機関との協議がお互いの都合により実施できなかった。次年度は担当レベルでの開催など方法を検討し実施する。</p>	

※ 評価（総合評価）：A大変効果があった、Bまあまあ効果があった、Cあまり効果がなかった、Dまったく効果がなかった。